

## 第2節

# 未来を創り心豊かな人を育むまちづくり

(教育分野では、未来を創り心豊かな人を育むまちづくりを進めます。)

# 事 業 説 明 書

新規 ・ ① 継続

課所名 教育委員会 学校教育課

<b>【事業名】</b> 学校生活支援事業費 <b>【説明項目】</b> 学校生活・日本語指導支援・複式学級支援員等の配置について				
<b>【予算額】</b> <b>【21年度】</b> 62,978 千円 <b>【22年度】</b> 75,346 千円 <b>【増減額】</b> 12,368 千円				
<b>1. 事業の目的</b>  学校生活・学習活動において様々な課題をもつ児童生徒を支援する。				
<b>2. 事業の目標</b>  様々な課題をもつ幼・小・中学校の園児児童生徒のいる学校に支援員を配置し、個々の実情に合ったきめ細やかな指導を行うことにより教育環境の充実を図る。				
<b>3. 事業の概要</b>  市内幼小中学校 44 校に 50 名の支援員を配置する。  <b>①学校生活支援員（小中）、発達支援サポーター（幼） 計 46 名</b>  様々な障害をもつ園児児童生徒のいる学校に、学校生活等の支援を行い、特別支援教育の充実を図る。22年度は幼・小・中学校あわせて 46 名を配置予定。  <b>②日本語指導支援員（小中） 3 名予定</b>  帰国子女等、学校生活・学習活動において支援が必要な児童生徒に対し配置。22年度は四ツ屋小学校、協和小学校、大曲中学校に配置予定。  <b>③複式学級支援員（小） 1 名予定</b>  複式学級における主要教科の授業に対応するため支援員を配置。平成 22 年度は大沢郷小学校に配置予定。				
<b>4. 財源内訳</b> <span style="float: right;">(単位：千円)</span>				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
75,346	12,195			63,151

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 教育委員会 学校教育課

<b>【事業名】</b> 体験的学習時間支援事業費（小学校・中学校） <b>【説明項目】</b> 体験的学習時間支援事業について										
<b>【予算額】</b> <b>【21年度】</b> 17,707 千円 <b>【22年度】</b> 17,707 千円 <b>【増減額】</b> 0 千円										
<b>1. 事業の目的</b>  合併時に整合性を図ることのできなかつた、内容的に重複するところもある「チャレンジサポート事業」（旧大曲・中仙実施）と、「総合的な学習の時間支援事業」（旧全市町村実施）を平成18年度より統合し、それぞれの特徴を生かし効果的な運用を図る。										
<b>2. 事業の目標</b>  小・中学校における各教科等（総合的な学習の時間含む）での体験的な学習を通して、身に付ける学力の定着や向上に資する。										
<b>3. 事業の概要</b>  各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間において体験的な学習活動を取り入れることにより、児童生徒の一人ひとりの学習意欲や、問題解決能力の向上が見込まれる。これは文部科学省の示す「生きる力」を育むことに他ならない。農業科学館、市役所、図書館、高齢者福祉施設、社会教育施設などへの訪問、自然体験活動・ボランティア活動等に招いたゲストティーチャー等の謝金等、各学校の創意工夫を生かした体験活動を充実させるために補助金を交付する。  <div style="margin-left: 40px;">           小学校（26校） 12,681千円            中学校（12校） 5,026千円         </div>										
<b>4. 財源内訳</b> <div style="text-align: right;">（単位：千円）</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">17,707</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">17,707</td> </tr> </tbody> </table>	予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	17,707				17,707
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源						
17,707				17,707						

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 教育委員会 学校教育課

<b>【事業名】</b>	外国語指導助手等招致事業費				
<b>【説明項目】</b>	外国語指導助手（ALT）、国際交流員（CIR）の配置について				
<b>【予算額】</b>					
<b>【21年度】</b>	37,947 千円	<b>【22年度】</b>	37,766 千円	<b>【増減額】</b>	△ 181 千円

## 1. 事業の目的

国際化の進展に伴い、重要視される国際理解教育及び英語教育の充実のために、外国語指導助手ALTを7中学校に配置し、他31小中学校に派遣して児童生徒の国際感覚を養い、コミュニケーション能力の向上を図る。

また、国際交流員CIR活用し、幼稚園及び小・中学校における国際理解教育の充実を図るとともに市民の国際交流活動を推進する。

## 2. 事業の目標

本市に外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）を配置することにより、児童生徒の国際感覚を養い、コミュニケーション能力の向上を図る。

特に、中学校における英語の授業時数の増加（週1時間増）や小学校における外国語活動（小学校5、6年生対象、週1時間）の実施に向けて、指導方法を研究し、新学習指導要領の完全実施への対応を図る。

## 3. 事業の概要

○小・中学校の国際理解教育及び英語教育に係るALT・CIRの担当計画

全市を7地域に分けて7人のALTと一部をCIRで全小学校の外国語活動と全中学校の英語の授業を支援する。

### ・外国語指導助手（ALT）

本務校に配置し、本務校を拠点として、担当の中学校・小学校・幼稚園を計画的に訪問し、各小・中学校及び幼稚園の国際理解教育並びに英語教育等の指導に当たる。  
また、地域住民等との国際交流を通じ、相互理解を進める。

### ・国際交流員（CIR）

教育研究所に配置し、計画的にあるいは要請に応じ学校、幼稚園及び各事業等へ派遣し、国際理解教育や国際交流学習を進める。  
また、国際交流事業のコーディネート、通訳、翻訳及び外国籍住民の生活支援等を行い、市全体での国際理解活動を推進する。

## 4. 財源内訳

（単位：千円）

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
37,766			548	37,218

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 教育委員会 学校教育課

【事業名】 遠距離通学費補助金・通学援助費・スクールバス運行事業費（幼稚園・小学校・中学校）

【説明項目】 路線バス・タクシー・スクールバス等による通学対策について

【予算額】

【21年度】 113,178 千円 【22年度】 101,362千円 【増減額】 △ 11,816 千円

## 1. 事業の目的

学校統合等により遠距離となり、通学が困難な地域の園児児童生徒の就学の機会と安全・安心な通学を確保する。

## 2. 事業の目標

遠距離となり、通学困難な地域の園児児童生徒の就学の機会と安全な通学が確保される。また、今後学校統合を進めて行く方向であるが、統合により遠距離通学となることに対する保護者の不安を解消し、学校統合がスムーズに行われる効果も期待できる。

## 3. 事業の概要

◎遠距離通学費補助（路線バス定期券購入費等補助） 71,120千円

- ・小学校：内小友小5人・南外西小1人・協和小241人
- ・中学校：大曲中 1人・大曲西中1人・協和中130人
- ・赤字補填：協和地域赤字補填

◎通学援助費（タクシー通学経費） 6,912千円

- ・小学校：四ツ屋小（松倉地区）角間川小（門目・布晒地区）協和小（徳瀬・滝ノ沢・船沢地区）
- ・中学校：大曲中（松倉地区「冬期間のみ」）西仙北東中（土川・大野地区「冬期間のみ」）

◎スクールバス・園児バス運行経費 23,330千円

- ・小学校
  - 刈和野小2台・大沢郷小1台・中仙小2台・清水小1台
- ・中学校
  - 西仙北東中3台・南外中2台
- ・幼稚園
  - みどり幼稚園2台・太田みなみ幼稚園1台・太田ひがし幼稚園1台

## 4. 財源内訳

（単位：千円）

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
101,362	8,845		1,658	90,859

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 教育委員会 学校教育課

<b>【事業名】</b> 小中学校芸術鑑賞事業費 <b>【説明項目】</b> 小中学校芸術鑑賞事業について										
<b>【予算額】</b> <b>【21年度】</b> 5,970 千円 <b>【22年度】</b> 5,931 千円 <b>【増減額】</b> △ 39 千円										
<b>1. 事業の目的</b>  大仙市小中学生、6,300人余りという大人数を生かし、大仙市内の大ステージ付き施設（市民会館等）を有効に使うことによって大がかりな舞台芸術を鑑賞することができる。										
<b>2. 事業の目標</b>  児童生徒に優れた舞台芸術等の鑑賞の機会を提供して、児童生徒の豊かな情操の涵養を図る。										
<b>3. 事業の概要</b>  ○小学校 大曲市民会館、中仙市民会館、協和市民センターの3会場で鑑賞 鑑賞は1人1,000円とし、要保護、準要保護児童生徒は無料 演目はわらび座による公演を予定 ※各小学校の鑑賞場所と区割 ・大曲市民会館 大曲地域、神岡地域、南外地域、仙北地域小学校 ・中仙市民会館 中仙地域、太田地域小学校 ・協和市民センター 協和地域、西仙北地域小学校  ○中学校 仙北市わらび劇場にてわらび座の公演を鑑賞予定 鑑賞料1人1,000円とし、要保護、準要保護生徒の鑑賞料は市で負担										
<b>4. 財源内訳</b> <div style="text-align: right;">(単位：千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5,931</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">3,737</td> <td style="text-align: center;">2,194</td> </tr> </tbody> </table>	予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	5,931			3,737	2,194
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源						
5,931			3,737	2,194						

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 教育委員会 学校教育課

<p>【事業名】 心のプロジェクト「夢の教室」事業費</p> <p>【説明項目】 小学生を対象にしたスポーツや芸術家などによる「夢の教室」開催事業について</p>														
<p>【予算額】</p> <p>【21年度】 0 千円 【22年度】 700 千円 【増減額】 700 千円</p>														
<p>1. 事業の目的</p> <p>プロの選手といっしょに体を動かしたり、芸術家など著名人のトークを聞くことにより子どもたちが夢を持つことの素晴らしさやそれに向かって努力することの大切さを知ること、児童の「やる気」が醸成される。</p>														
<p>2. 事業の目標</p> <p>本事業により、本市から多くのプロスポーツ選手等をめざす児童が増え、将来、多くのプロアスリートやアーティストが生まれことを期待するものである。それが、市の名前を全国にピーアールすることにもつながる。</p>														
<p>3. 事業の概要</p> <p>(スポーツ選手の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は正規の授業2コマ(3・4時間目または5・6時間目「45分×2コマ」)</li> <li>・前半は「ゲームの時間」35分(体育館で体を動かす)</li> <li>・後半は「トークの時間」55分(夢先生の体験談などをもとに夢について話し合う)</li> </ul> <p>(芸術家の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半は「作品づくり」45分(図工室で制作活動)</li> <li>・後半は「トークの時間」45分(夢先生の体験談などをもとに夢について話し合う)</li> </ul> <p>事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師謝礼</li> <li>(夢先生) 65 千円×1人×4校 = 260 千円</li> <li>(アシスタント) 50 千円×1人×4校 = 200 千円</li> <li>(スタッフ) 30 千円×2人×4校 = 240 千円</li> </ul>														
<p>4. 財源内訳 <span style="float: right;">(単位：千円)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	700				700
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
700				700										

# 事 業 説 明 書

新規 ・ ① 継続

課所名 教育委員会 学校教育課

<p>【事業名】 法人立幼稚園補助金</p> <p>【説明項目】 法人立幼稚園への補助について</p>														
<p>【予算額】</p> <p>【21年度】 43,497 千円    【22年度】 42,438 千円    【増減額】 △ 1,059 千円</p>														
<p>1. 事業の目的</p> <p>市立幼稚園の移譲をうけた社会福祉法人の円滑な園運営のため、経費の一部を補助する。</p>														
<p>2. 事業の目標</p> <p>本事業により、市立から法人立となった幼稚園の継続的な園運営や、教育・保育環境の充実を図る。</p>														
<p>3. 事業の概要</p> <p>①幼稚園運営費補助金（39,125千円）</p> <p>下記補助基準により算定される運営基準額から、園の自主財源（保育料収入、県私学助成金）を控除した額。</p> <p>※運営基準額</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">1 園あたり</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">16,000,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">1 学級あたり</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">4,000,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">1 園児あたり</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">20,000 円</td> </tr> </table> <p>②保育料軽減補助金（2,214千円）</p> <p>すこやか子育て、就園奨励費など、国県の補助対象とならない法人立幼稚園の保護者に対し、市立幼稚園保育料との差額を補助する。</p> <p>③事務局経営安定化補助金（1,099千円）</p> <p>法人化に伴う初期電算費用、事務局の幼稚園部門経費補助。</p>					1 園あたり	16,000,000 円	1 学級あたり	4,000,000 円	1 園児あたり	20,000 円				
1 園あたり	16,000,000 円													
1 学級あたり	4,000,000 円													
1 園児あたり	20,000 円													
<p>4. 財源内訳 <span style="float: right;">（単位：千円）</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 25%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">42,438</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">42,438</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	42,438				42,438
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
42,438				42,438										

# 事 業 説 明 書

新規 継続

課所名 教育委員会 施設管理課

<b>【事業名】</b>	大曲中学校屋内体育館建設事業費				
<b>【説明項目】</b>	大曲中学校屋内体育館建設事業について				
<b>【予算額】</b>					
<b>【21年度】</b>	319,100 千円	<b>【22年度】</b>	806,015 千円	<b>【増減額】</b>	486,915 千円
<b>1. 事業の目的</b>					
<p>良好な教育施設を提供することにより教育環境の向上を図ることを主たる目的とし、安全・安心な学校づくり交付金事業として大曲中学校屋内体育館（柔剣道場含む）を改築する。当校は生徒数が県内最大であることから、改築後は現体育館床面積1,626㎡の約2.1倍の広さに拡大して、体育授業と部活動の場を充実させることを目的とする。</p>					
<b>2. 事業の目標</b>					
<p>大曲中学校体育館は、昭和40年に建設されてから43年が経過しており、市内中学校体育館では最も古く経年による老朽化が進んでいる。また、生徒数861人（事業着手時）、27学級というマンモス校であるため、生徒一人当たりに対する体育館床面積が1.9㎡と、市内平均5.8㎡を大きく下回る非常に狭隘な体育環境であることから、体育実技や部活動に多大の支障をきたしている。改築後の柔剣道場を除く体育館の床面積は3,367㎡で、生徒一人当たりに対する床面積は3.9㎡となる。なお、本事業により市内平均値も押し上げられ6.5㎡に向上する。</p>					
<b>3. 事業の概要</b>					
○事業費 966,376 千円                      事業年度 平成20年度～平成22年度					
○屋内体育館の概要					
鉄骨鉄筋コンクリート・一部鉄骨造り 2階建て 延床面積 4,121㎡					
第1アリーナ2,211㎡、第2アリーナ714㎡、ランニングコース442㎡、道場452㎡					
渡り廊下253㎡					
(バスケットボールコート2面、バレーボールコート1面、柔剣道場各1面、卓球練習場10面、器具庫、更衣室、部室ほか)					
○継続費（解体工事、備品購入、事務費除く） <span style="float: right;">単位：千円</span>					
<b>【継続費】</b>	21年度(11%)	22年度(89%)	計		
設計監理委託料	224	1,794	2,018		
工事監理委託料	608	4,866	5,474		
本体・電気設備・機械設備工事請負費	96,444	773,526	869,970		
計	97,276	780,186	877,462		
○年度別事業計画 <span style="float: right;">単位：千円</span>					
年 度	事業費	主な事業内容			
19年度	—	地形測量・基本設計（参考7,487）			
20年度	13,922	実施設計13,440			
21年度	146,439	継続費 97,276、現道場解体8,271、仮道場建設31,920			
22年度	806,015	継続費780,186、現体育館解体20,697			
合 計	966,376				
<b>4. 財源内訳</b> <span style="float: right;">(単位：千円)</span>					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
806,015	136,814	596,300	19,950	52,951	

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 教育委員会 生涯学習課

<p><b>【事業名】</b> 芸術文化振興費、生涯学習推進費負担金</p> <p><b>【説明項目】</b> 「出前民謡・ふるさと民謡めぐり」、「秋田おばこ節全国大会」、「秋田おはら節全国大会」及び「秋田飴売り節大会」について</p>														
<p><b>【予算額】</b></p> <p><b>【21年度】</b> 4,168 千円 <b>【22年度】</b> 4,218 千円 <b>【増減額】</b> 50 千円</p>														
<p><b>1. 事業の目的</b></p> <p>芸術文化の振興は、市民生活に潤いと生きがいを与えるために不可欠の要素であると考えられる。民謡は、娯楽の一端として古くから根付いた地域文化であり、特に遠くへ出かけることの困難な高齢者に対して、民謡愛好者が地域に出向いて民謡に触れる機会を提供することは、広範にわたる芸術文化の振興、生きがいづくりという意味でも意義深いものがある。</p> <p>また、全国大会規模の民謡大会を開催することにより、地域の伝統文化が継承され、大仙市を県内はもとより、全国にピーアールする絶好の機会となる。</p> <p>特に、平成22年度に第3回目を迎える「秋田飴売り節大会」は、全国大会としての開催を目指し、実行委員会が中心となり各方面に働きかけている。</p>														
<p><b>2. 事業の目標</b></p> <p>事業を通して、若手の指導・育成を行い、末永く民謡が継承されるような環境を整える。 (伝統文化の継承)</p>														
<p><b>3. 事業の概要</b></p> <p>◎出前民謡「ふるさと民謡めぐり」（予算：【H22】900千円） 主催：実行委員会（大仙市民謡愛好会：市内民謡関係者のボランティア団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内8地域を巡回公演し、歌、踊り等を披露</li> <li>・入場料—無料</li> <li>・観客数 平成20年度 2,100人 平成21年度 1,630人</li> </ul> <p>◎秋田おばこ節全国大会（負担金予算：【H22】1,522千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成元年度から毎年開催</li> <li>・出場者数 平成20年度 162人 平成21年度 156人</li> </ul> <p>◎秋田おはら節全国大会（負担金予算：【H22】1,246千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成8年度から毎年開催</li> <li>・出場者数 平成20年度 76人 平成21年度 66人</li> </ul> <p>◎秋田飴売り節大会（負担金予算：【H22】550千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度より開催し、平成22年度は全国大会として開催予定</li> <li>・出場者数 平成20年度 46人 平成21年度 52人</li> </ul>														
<p><b>4. 財源内訳</b> <span style="float: right;">(単位：千円)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4,218</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">4,218</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	4,218				4,218
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
4,218				4,218										

# 事業説明書

新規・継続

課所名 教育委員会 総合図書館

【事業名】 子ども読書活動推進事業費					
【説明項目】 子ども読書活動推進事業について					
【予算額】					
【21年度】	0 千円	【22年度】	3,661 千円	【増減額】	3,661 千円
1. 事業の目的					
<p>「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、平成22年度から平成26年度までの5年間、子ども読書活動の充実と環境の整備に努め、子どもたちの読書に親しむ姿勢を後押しし、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成します。</p>					
2. 事業の目標					
<p>大仙市の子どもたちがあらゆる機会をとらえて、自主的に読書に親しむ習慣を身につけられるような環境づくりを進めるため、4項目の基本目標にそって読書活動を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭・地域における読書活動の推進</li> <li>2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進</li> <li>3. 学校における読書活動の推進</li> <li>4. 図書館における読書活動の推進</li> </ol>					
3. 事業の概要					
<p>○ブックスタート事業（家庭・地域における読書活動の推進）</p> <p>4ヶ月検診時に、赤ちゃんと保護者を対象に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡します。保護者も一緒に赤ちゃんのかわいい反応を見ながら、絵本を開く時間の楽しさを体験してもらうことで、家庭でもそうした時間を持つきっかけを作ります。</p> <p>○保育園・幼稚園における読書活動の推進</p> <p>子どもたちの本への興味を持続させるため、絵本に興味を持った子どもたちが、機会を逃すことなく、絵本を自由に手にとることができるよう、各園の要望を取り入れて絵本の一層の充実を図ります。</p> <p>読み聞かせボランティア等の派遣により、読み聞かせの機会を充実させて、子どもたちの豊かな心を育むとともに、読み聞かせ風景が保護者の方々の目に触れる機会を増やし、家庭での読書の推進を図ります。</p> <p>○学校における読書活動の推進（小・中学校への支援）</p> <p>図書館職員（司書）が連携しながら、児童生徒にとって魅力ある学校図書館づくりや読書環境の整備充実に努めます。学校図書館を活用して特色ある教育活動に取り組んでいる小・中学校を重点的に支援するとともに、その優れた実践や活動内容を広く紹介し、市内小・中学校における読書活動の一層の推進を図ります。</p>					
事業費					
○ブックスタート事業 <span style="float: right;">1, 203 千円</span>					
・オリジナルパック（絵本2冊含む）600人分 等					
○保育園・幼稚園における読書活動の推進 <span style="float: right;">1, 700 千円</span>					
（34園の入園児数・クラス数に応じて支援）					
○学校における読書活動の推進 <span style="float: right;">350 千円</span>					
○その他 <span style="float: right;">408 千円</span>					
・子ども読書活動推進計画書印刷製本費 等					
4. 財源内訳					
（単位：千円）					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
3,661				3,661	

# 事 業 説 明 書

新規・継続

課所名 教育委員会 文化財保護課

<b>【事業名】</b> 池田氏庭園整備事業費				
<b>【説明項目】</b> 池田氏庭園洋館修復工事・電柱地中化工事・外周部生垣及び洋館外構工事について				
<b>【予算額】</b>				
<b>【21年度】</b>	59,130 千円	<b>【22年度】</b>	58,632 千円	<b>【増減額】</b> △ 498 千円
<b>1. 事業の目的</b>				
<p>池田氏庭園整備事業により国指定名勝「池田氏庭園」の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元整備を行い、学術上・鑑賞上優れたこの庭園を往時の姿に甦らせるものです。</p> <p>東北3大地主と称された池田家は、在村地主として常に農業を基幹とした姿勢で地域の発展に寄与し、県内外の政治・経済・文化に大きな影響を与えてきました。庭園の整備により、庭園の価値を後世に伝えると共に、郷土を愛し、地域発展に尽力を続けている池田家の功績(池田家の精神)の伝承と顕彰とを目的として行うものです。</p>				
<b>2. 事業の目標</b>				
<p>国指定(平成16年)名勝「池田氏庭園」は、学術的・鑑賞的価値の保存伝承を図るために、平成16年度から年次計画による庭園整備事業が行われています。</p> <p>今後は、大仙市の文化財主要拠点として、他の文化財と連携して歴史散策コースの設定などを行い、先人の文化遺産を通して市民の文化意識の高揚と啓発を図りたいと考えております。</p> <p>大仙市内に所在する古四王神社や唐松神社、国宝鏡が御神体である水神社、また池田氏庭園周辺に所在する払田柵跡、払田分家庭園、歴史民俗資料館と餅つき体験施設等の歴史文化施設、さらに角館、六郷、横手(後三年合戦史跡等)方面の歴史文化施設との広域的な歴史文化観光連携の核となりえるような、庭園の環境整備を推進することを目標としたいと考えております。</p> <p>払田分家庭園は紅葉の名所として知られ、真山公園の一部として常時開放され、市民の憩いの場として利用されており、池田氏庭園と一体の環境整備により、払田柵跡史跡公園と連携させた市民の憩いの場としての庭園整備と活用の推進を図ります。</p>				
<b>3. 事業の概要</b>				
<p>秋田県で最初の鉄筋コンクリート造り洋館の修復工事と池泉構築物の修復工事を予定しています。洋館は経年劣化による破損が著しく建物維持のための修復工事を5カ年計画で実施し、建物の保存を図ると共に将来の一般公開に備えるものです。(第5年次最終年次工事)</p> <p>なお、洋館工事請負の本体工事竣工は、10月末を予定しており、例年実施している秋の特別公開前には、周辺の仮設プレハブ等の仮設物品が除去され、また外構修理も完成の予定となっています。完成後の公開の方法については、修復後の建物保護の観点から、申し込み定員制等を含め今後の検討が必要であります。</p> <p>洋館修復竣工にあわせ、洋館周辺外構修復・引き込み電線の地中化、外周部生垣修復等を行い、環境整備の進展により公開機会の拡大を図るものです。</p>				
<p><b>主要事業費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○洋館修復(工事費・工事監理委託) 26,040 千円</li> <li>○米蔵味噌蔵修復工事実施設計 18,060 千円</li> <li>○庭園整備(生垣植栽・電線地中化) 13,419 千円</li> </ul> <p>・国補助率 1/2</p>				
<b>4. 財源内訳</b>				
(単位：千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
58,632	29,250	26,300		3,082

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 教育委員会 文化財保護課

<b>【事業名】</b> 鈴木空如資料調査研究事業費 <b>【説明項目】</b> 鈴木空如資料調査研究事業について				
<b>【予算額】</b> <b>【21年度】</b> 0 千円 <b>【22年度】</b> 2,765 千円 <b>【増減額】</b> 2,765 千円				
<b>1. 事業の目的</b>  鈴木空如の仏画師としての40年近い活動を調査し、作品など空如の足跡を調査保存する。 あわせて、市民に空如の業績を公開・お知らせし、青少年育成の一つのテーマとして活用されるよう空如作品の補修や資料づくりを行い、あらためて空如業績を顕彰する。				
<b>2. 事業の目標</b>  法隆寺金堂壁画や貴重な仏画等の模写を行った鈴木空如について、学術調査を行うため、空如の生家及び本市と近隣市町村に残された作品や関係資料を調査し、その成果を公開し、広く市民に鈴木空如の業績を伝えて行く。				
<b>3. 事業の概要</b>  昨年度は経済危機対策費によって生家に保存されていた資料の悉皆調査を行った。本年度は、鈴木空如作品が本市及び近隣市町村等にどれだけ保存されているのかを調査する。また、空如作品を公開・普及させるため作品の補修や資料づくりなどを行う。 また、法隆寺金堂壁画模写絵以外の作品も随時公開する。  主な事業費 ・ 調査旅費 619千円（専門調査員及び職員の調査旅費） ・ 印刷費 600千円（報告書作成費 3,000円×200冊） ・ 空如作品補修委託費 1,200千円（2,400円×500点）				
<b>4. 財源内訳</b> <span style="float: right;">(単位：千円)</span>				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
2,765				2,765

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 教育委員会 スポーツ振興課

<p><b>【事業名】</b> 全県500歳・550歳野球大会関係費</p> <p><b>【説明項目】</b> 全県500歳野球大会及び全県550歳野球大会の開催について</p>														
<p><b>【予算額】</b></p> <p><b>【21年度】</b> 1,670千円    <b>【22年度】</b> 2,882千円    <b>【増減額】</b> 1,212千円</p>														
<p><b>1. 事業の目的</b></p> <p>「一生 スポーツ 一生 健康」のキャッチフレーズのもと、500歳・550歳野球大会に参加することにより、多くのこよなく野球を愛する熟年世代の心身の健康増進に寄与する。併せて、地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域活性化を図ることを目的とする。</p>														
<p><b>2. 事業の目標</b></p> <p>毎年、オールドプレーヤー達の熱戦が繰り広げられ、特に500歳野球大会は歴史と権威があり、170チーム、4,000人を超える全国でも希な一大野球イベントに成長している。今後も更に充実した大会運営を目指すために、新しく複数年使用できるスタッフ用の帽子や、運営に万全を期すため、増設した会場設備等の充実を図る。</p>														
<p><b>3. 事業の概要</b></p> <p>平成21年度から、全県500歳野球大会と全県550歳野球大会を一元的に実施していくための実行委員会を再編し、会場を全市に拡大している。</p> <p>平成22年度の事業概要については次のとおり。</p> <p><b>【アオダモ移植】</b></p> <p>「木製バットを後世に」をスローガンに、神岡野球場に植栽しているアオダモを間引きして、市内の各会場周辺に移植する募金運動を展開する。</p> <p><b>【全県550歳野球大会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抽選会            平成22年6月中旬    ※秋田魁新報本社</li> <li>・大会日程        平成22年7月31日(土)～8月2日(月)    ※予備日(8月3日)</li> <li>・会 場            1. 南外山村運動広場(主会場)、ほか3会場 (全 4会場)</li> </ul> <p><b>【全県500歳野球大会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抽選会            平成22年8月6日(金)    ※秋田市文化会館</li> <li>・大会日程        平成22年9月18日(土)～22日(水)    ※予備日(9月23日)</li> <li>・会場            1. 神岡野球場(主会場)、 2. 大曲球場、 3. サン・スポーツランド協和野球場 4. 八乙女球場、   ほか14会場 (全 18会場)</li> </ul> <p>(事業費の主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会実行委員会負担金 2,357千円</li> </ul>														
<p><b>4. 財源内訳</b> <span style="float: right;">(単位：千円)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 25%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,882</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2,882</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	2,882				2,882
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
2,882				2,882										

# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 企画部 総合政策課

<b>【事業名】</b> 非核平和都市宣言経費				
<b>【説明項目】</b> 非核平和レポーター派遣事業、被爆・戦争体験者講演会について				
<b>【予算額】</b> <b>【21年度】</b> 1,793 千円 <b>【22年度】</b> 722 千円 <b>【増減額】</b> △ 1,071 千円				
<b>1. 事業の目的</b>  大仙市は平成17年6月27日に「非核平和都市」を宣言した。 現在は戦後60年以上が経過し、戦争の体験を伝えていくことがますます困難になってきている。 そのため市内中学生、高校生を広島へ非核平和レポーターとして派遣すること等により、平和と命の尊さ、戦争の恐ろしさについて考え、語り合う機会を設け、平和を願う精神を後世へ受け継ぐことを目的とする。				
<b>2. 事業の目標</b>  戦争を知らない世代の子どもたちを被爆地などに派遣し、戦争の悲惨さを見て、聞いて、感じてもらう。 また、非核平和レポーターの研修、被爆・戦争体験者の講話を通して、広く市民に非核平和の啓蒙を図る。				
<b>3. 事業の概要</b>  ○非核平和レポーター派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣地 広島市</li> <li>・対象 市内在住の中学生・高校生</li> <li>・定員 6名（ほかに引率者2名） ※前年度予算は、定員8名（引率者2名）</li> <li>・成果 レポーターによる研修発表会を実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>●レポーター6名と引率者2名の旅費 483千円</li> </ul> </li> </ul> ○被爆・戦争体験者講演会（新規） <ul style="list-style-type: none"> <li>・非核平和レポーター研修会に併せ、被爆・戦争体験者による講演会を実施</li> <li>・開催時期は集客や研修報告の準備が確保できる夏休み以降を予定</li> <li>・前年度まで実施の映写会は休止             <ul style="list-style-type: none"> <li>●講師謝礼・講師旅費 80千円</li> <li>●広報宣伝に係る消耗品等 120千円</li> </ul> </li> </ul>				
<b>4. 財源内訳</b> <span style="float: right;">(単位：千円)</span>				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
722				722